



PRESS RELEASE

2021年1月19日
株式会社 池田模範堂

世界初！※1
ユーカリ油塗布による皮膚アレルギー抑制効果を発見
および そのメカニズムも解明
～ 富山県薬事総合研究開発センターの協力により実現 ～

株式会社池田模範堂（本社：富山県上市町、代表取締役社長 池田嘉津弘）はユーカリの葉から抽出される天然成分ユーカリ油を皮膚に塗ることで、皮膚のアレルギー反応が抑制されることを発見しました。

富山県薬事総合研究開発センターの協力を得て、そのメカニズムを明らかにし、研究成果はオンライン学術ジャーナル Scientific Reports (Nature Research) ※2に掲載されました※3。

当社は虫さされ薬だけでなく、様々な肌トラブルに着目した研究を続けています。研究成果は商品開発に応用し、多くのお客様のお肌の悩みを解決する一番手商品をお届けしてまいります。

【 研究成果 】

ダニの死がいや糞などのハウスダストが皮膚にふれると、皮膚内にあるマスト細胞※4が破裂し、アレルギー反応を引き起こす物質が放出され（図1）、皮膚ではかゆみや腫れ、発赤^{ほっせき}などの症状が現れます。

マスト細胞からの原因物質の放出を抑えることが、症状を抑える指標になると考え、多くの成分を試験した結果、ユーカリ油に高い抑制効果があることを発見しました（図2）。つまり、ユーカリ油はマスト細胞の破裂を抑え（図3）、実際に皮膚に塗布することで、皮膚の腫れといったアレルギー症状が緩和されることも確認しました。（図4）。

さらに、当社は効果の発見のみならず、どのようなメカニズムでユーカリ油がアレルギー反応を抑制しているのかについて、2017年より鋭意研究を重ねてきました。その結果、富山県薬事総合研究開発センターの協力により、作用の一つを解明することができました。

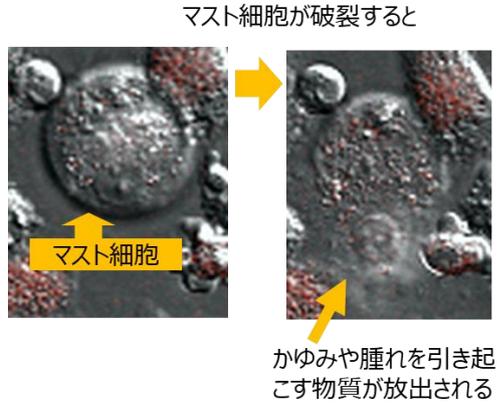
※1 2020年11月 自社調べ 文献検索サイト(Pubmed)にて「ユーカリ油塗布による皮膚のアレルギー抑制効果とそのメカニズムの解析」に関する文献を検索した結果（データベース公開より～2020年11月30日）

※2 Scientific Reports：国際的に評価の高い、自然科学と臨床科学のオンライン学術雑誌です。

※3 掲載 URL：<https://www.nature.com/articles/s41598-020-77039-5>

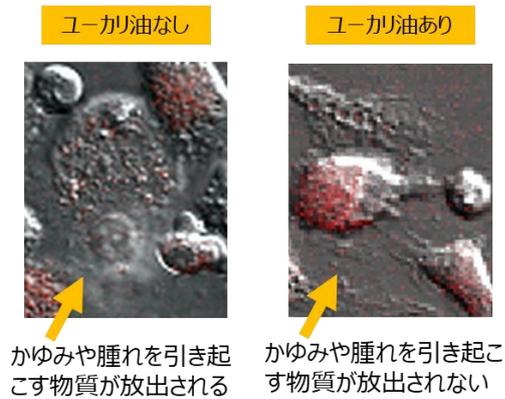
※4 マスト細胞：皮膚に存在するアレルギー反応に重要な役割を持つ細胞の一種です。

図1 マスト細胞からアレルギーを引き起こす物質が放出される顕微鏡写真



富山県薬事総合研究開発センター
共焦点レーザー顕微鏡にて撮影

図3 ユーカリ油がマスト細胞からアレルギーを引き起こす物質の放出を抑制する顕微鏡写真



富山県薬事総合研究開発センター
共焦点レーザー顕微鏡にて撮影

図2 多くの成分を試験した結果、ユーカリ油に高い効果を確認

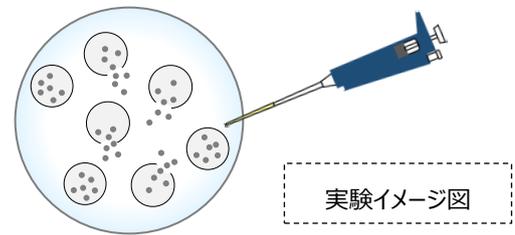
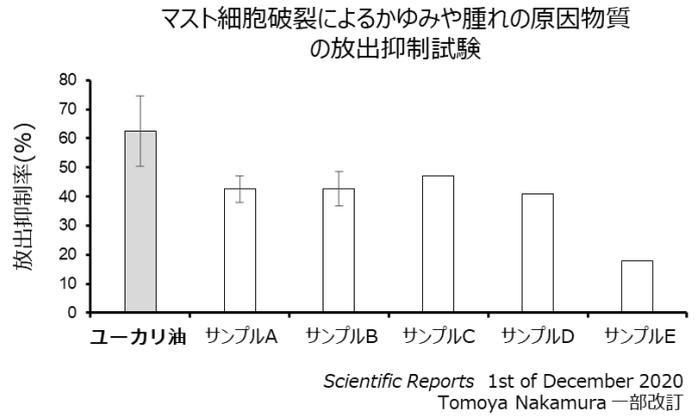
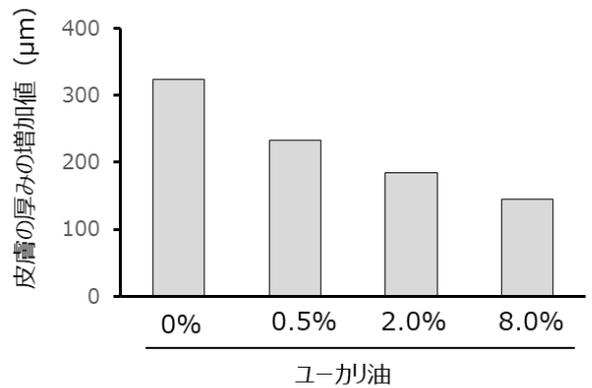


図4 皮膚にユーカリ油を塗布することで皮膚の腫れを抑制



Scientific Reports 1st of December 2020
Tomoya Nakamura 一部改訂

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社池田模範堂 総務グループ 山岸 / 柿田
電話：076-472-1133 (本社代表)
FAX：076-472-0092
本社：富山県中新川郡上市町神田 16 番地
URL：https://www.ikedamohando.co.jp/

肌を治すチカラ
MUHI